

2022年4月2日裁判司法研究会議事録

1. 概要

【日時】2022年4月2日午後2時から午後5時10分ごろまで

【会場】Zoomによる遠隔研究会および会議

【出席者】

玉江、小林、南京家、巫（4名）

2. 2021年度会計報告

会計の規模は非常に僅少だが、会計報告を行い承認された。

3. 玉江さんの事件について

問題があることは明らかなが、会の力が弱いので解決は難しい。

4. 出版計画などについて

(巫) 出版社に相談してみたが、出版費用がかさみ、ほぼ回収を期待できない。しかし、ホームページでの主張は限界がある。

最近のSNSでの情報発信は、インターネットが出始めてきた1990年代のホームページや掲示板などに比べると、独自の視点からの主張ではなく、マスコミの流す情報を拡大再生産しているものが多く、質が落ちている気がする。権力におもねる議論が幅を利かせているので、ホームページだけで主張するのは難しくなっている。

5. 会の活動について

いろいろな意見が出たが決定的な方法論は見つからない。

会員を増やしたいが、会の趣旨からいって司法制度に興味のない人を集めても意味がないので、人数を増やすというのは簡単ではない。

6. 次回の予定

2022年4月16日（土）14時から17時くらいまで、Zoom会議。Zoomホストは小林さんの予定。

7. お知らせ

3月5日の研究会で話題になった狭山事件について、巫は現在資料を読んでいます。当日の会の議論では、前提となる知識が不足しておりましたので、その点について少し情報を整理して、共有できればと思います。次回の研究会ま

でに、どの程度まとまるかはまだわかりません。

2022年4月6日
巫召鴻